

# 砂防施設を活用した小水力発電



- ①発電施設の事業主体  
長野市  
発電電力量 6.7kW/h
- ②砂防施設管理者：長野県
- ③建設費用：24.7百万円
- ④整備年次：平成19年度

信濃毎日新聞記事（2008年3月27日）



長野県長野市 あさかり 浅刈砂防えん堤

発電した電力は近傍の大岡小・中学校へ供給し、両校の年間電気使用量の1/3を賄う他、施設見学を通じた環境学習に活用されています。

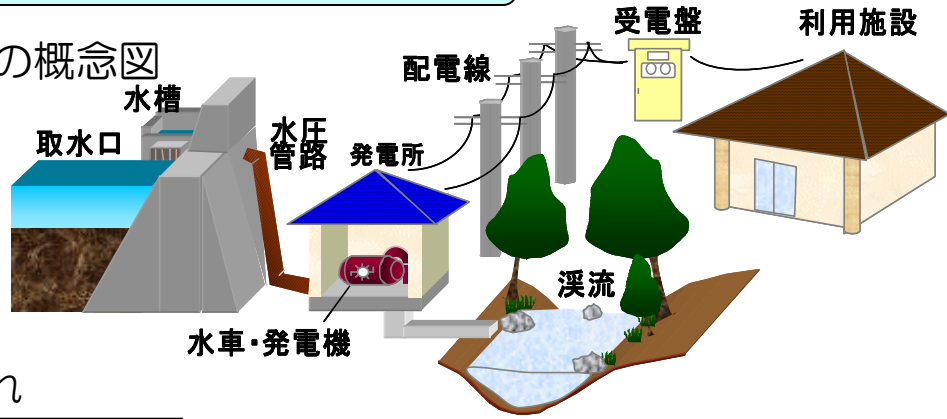
～環境にやさしい小水力発電により、  
地球温暖化の緩和に貢献できます～

国土交通省砂防部

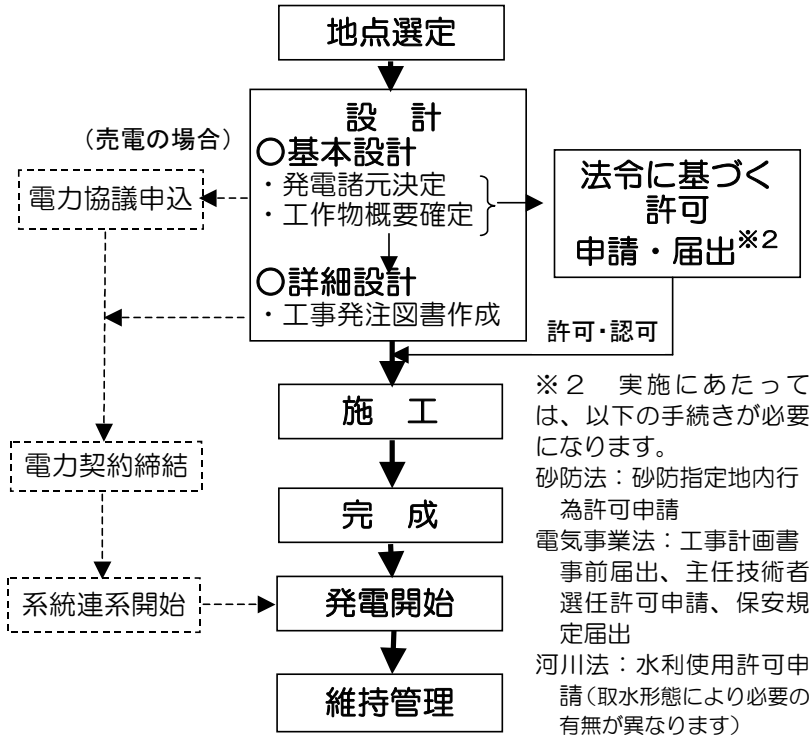
# 砂防えん堤を活用した小水力発電※1

※1 ここでは出力 1,000kW 以下の水力発電を指すこととします

## ○小水力発電の概念図



## ○手続きの流れ



## 主な補助金制度

関係省庁	各種補助金制度等	補助率
経済産業省	地域新エネルギー等導入促進事業※3	最大50%
	中小水力発電開発事業※4	5,000kW以下 20% 5,000kW超 10%
環境省	二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金	50%
総務省	過疎債	元利償還金の70%

※3) 一般社団法人新エネルギー導入促進協議会 (NEPC)

※4) 独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)

※2 実施にあたっては、以下の手続きが必要になります。  
 砂防法：砂防指定地内行為許可申請  
 電気事業法：工事計画書事前届出、主任技術者選任許可申請、保安規定届出  
 河川法：水利使用許可申請（取水形態により必要の有無が異なります）

## 事例（大分県日田市（旧中津江村））

### ○平成20年の発電実績

鯛生砂防えん堤から、最大 0.5m<sup>3</sup>/s 取水。

平成17年度より本格的に発電を開始し、道の駅（鯛生金山）で使用する照明や冷暖房等の電力の約5割を賄っています。

### ○建設コスト

総事業費 170百万円、補助金 85百万円  
 （補助率50%）

起債 79百万円（過疎債利用）

一般財源 6百万円

### ○採算性（平成17年度～平成20年度平均）

収入（電力料金節約額＋売電収入） 約5百万円

支出（人件費、修繕費他） 約1百万円

道の駅（鯛生金山）



## 全国事例にみる 電力利用例

- ①公園等の照明
- ②学校や観光施設への供給
- ③電力会社への売電 等

## □お問い合わせ先

国土交通省砂防部保全課（代表電話03-5253-8111）  
 都道府県砂防主管課